

県立佐原病院の 存続と充実を願って

Q 千葉県保健医療計画(試案)における県立佐原病院が担う役割をどう評価するのか。

A 市では、県立佐原病院の存続と果たすべき役割について、明確化するよう要望してきましたが、試案には反映されませんでした。このため、県に対し試案への意見として再度、県立病院の存続と果たすべき役割の明確化を求める意見書を提出しました。



看護師の配置で急な病児等の保育にも対応可能(おみがわこども園)



さかもと ようこ
坂本 洋子 議員

Q 県知事からの回答文書「香取地域における医療体制の充実について」は、どの程度実行されているのか。

A 耐震改修に伴う病院運営影響等調査業務委託を県で実施しています。現在、耐震補強の計画や工事施工中の運営計画を作成していると伺っています。医師の確保について、正規職員の医師数は、平成29年4月1日現在15人、平成30年2月1日現在では16人となっています。

病児、病後児保育事業を

Q 共働き世帯にとって子どもの病気は大きな問題。香取市子ども・子育て支援事業計画に位置付けている病児、病後児保育について市の対応は。

A 病状にも異なりますが、ファミリーサポートセンター事業において対応しています。また、おみがわこども園には看護師を配置し、体調の悪くなったお子さんに対し保護者が迎えに来るまでの間、保健室で保育を行っています。



う い しょういち
宇井 正一 議員

例制定に対する取り組み状況は。

A 香取市小規模埋め立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例を改正し、再生土等も規制の対象とする改正案を平成30年3月議会に上程しています。施行期日を5月1日とし、独自に厳しい安全基準を規定するなど、実効性を高めるものとしています。面積要件については、施行時期を早めることを優先したため、県の再生土等を規制する条例案が示され、規制の詳細が明らかになった段階で再度検討します。



香取市は早場米の産地としても有名な米どころ(清里ファーム)

ます。今後の対応は、平成30年度実施予定のニーズ調査の結果を見て検討していきます。

国民健康保険税の 引き下げが実現

Q 高すぎて払いたくても払えない国保税の引き下げは市民の切なる要望。市の国保会計は黒字が続き安定した運営が行われていることから引き下げを。

A 国保税を賦課する税率から資産割を廃止する条例案を平成30年3月議会に提案しました。新たな保険税額を試算した結果、平成29年度の平均額と比べ、8452円、7.8%の引き下げとなります。

Q 住民税申告時におけるマイナンバーの記載は必要か。

A マイナンバーの記載がない申告書でも受け付けしています。

Q 住民税決定通知書へのマイナンバーは、国の方針転換で書かなくても良いことになったが市の対応は。

A 国の方針どおり対応しています。

政府の生産調整の廃止が 米農家へ影響

Q 収入保険制度の市内の加入対象者数は、制度のメリットは。

A 農業所得のある青色申告の実績が最低でも1年分あれば加入できるため、平成28年分の青色申告者数は973件、これに平成29年分の青色申告を開始した農業者が対象となります。水稲や畑作物といった品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少に加え、価格低迷などを含めた農業の収入減少をサポートするものです。

Q 米の支払い交付金の廃止に伴う市内稲作農家への影響、転作物物に対する交付金、水田活用の直接支払い交付金の市農業に対する効果と制度存続の見通しは。

A 平成29年産で水稲作付農家の12%にあたる531経営体、約8700万円が交付されています。転作物物に対する交付金については、平成29年産の実績として飼料用米やWCS用稲を中心に約1319haの取り組みが行われました。国の戦略作物助成・産地交付金が約11億4028万円、県補助金が3950万8千円、市奨励金が約1億2682万円、合計約13億660万円です。助成金の見通しですが、国では平成30年産で交付金を増額し、需給安定につながる方針となっています。

Q 再生土処分場規制についての県の素案は届け出のみで期待外れだが、市の条

A 大角住民は地下水汚染を心配している。再生土処分場の地下水と土壌の検査結果は。フツ素の項目で指導指針に定める基準を超過したことを確認しました。

Q 車両物損事故の損害賠償には市の瑕疵責任があるが、事業者負担は。
A 再生土搬入車両の通行と道路破損の因果関係を立証することが困難であることから、難しいと判断しています。

Q 再生土処分場の土壌汚染が懸念され、生活環境にも影響ができています。大角の市道復旧の進捗状況と業者負担の交渉状況は。
A 平成29年12月より東総有料道路付近から約800mの区間で修繕工事を実施し、完了は3月末の予定です。費用負担については事業者と数回交渉を行っています。合意には至っていません。今後も交渉を継続していきます。

大角再生土処分場で 基準値以上のフツ素検出

Q 再生土処分場の土壌汚染が懸念され、生活環境にも影響ができています。大角の市道復旧の進捗状況と業者負担の交渉状況は。

A 平成29年12月より東総有料道路付近から約800mの区間で修繕工事を実施し、完了は3月末の予定です。費用負担については事業者と数回交渉を行っています。合意には至っていません。今後も交渉を継続していきます。